

住友ゴムグループは、タイヤ、スポーツ、産業品他の三つの分野で事業を展開しています。2020年を目標年度とする長期ビジョン「VISION 2020」の目標達成にむけ、着実に事業成長を図っています。

タイヤ事業では、国内の低燃費タイヤ市場で高い支持を獲得しているほか、需要拡大が期待できる新興市場を中心にグローバル展開を積極的に進めています。スポーツ事業では、優れた性能を誇るゴルフ用品やテニス用品の開発のほか、フィットネスなどのウェルネス事業を展開しています。産業品他事業では、成長が期待される制振ダンパーや医療用ゴム部品の拡販を図っています。

THE NEXT CHAPTER

Innovation

独自技術で環境負荷を低減



100% 石油外
天然資源タイヤ

エナセーブ
100



ラベリング制度
最高グレード
「AAA-a」達成

エナセーブ
NEXT



プレミアム
ランフラットタイヤ

SP SPORT
MAXX 050 NEO



NEO-T01



沿革

1909

英国ダンロップ社の工場を誘致、日本初の近代的ゴム工場として創業。自転車用タイヤ、人力車タイヤ（ソリッド）の生産開始

1913

自動車用タイヤの生産開始。「自動車タイヤ国産第一号」誕生

1954

日本初のチューブレスタイヤを開発

1963

住友の経営となる。「住友ゴム工業株式会社」に社名変更

1966

日本初のラジアルタイヤ「SP3」の生産開始

1984

英独仏の6工場およびタイヤ技術中央研究所を買収

1986

米ダンロップ社を買収

1999

The Goodyear Tire & Rubber Company（グッドイヤー社）とタイヤ事業におけるアライアンス締結

Globalization

各地で生産・販売を拡大

Turkey

- 2015年
•新工場稼働予定

China

- 2015年
•2工場の生産能力増強
•ファルケンブランドの
タイヤ販売開始

India

- 2013年
•ファルケンブランドの
タイヤ販売開始

Thailand

- 2014年
•農業機械用タイヤ
工場稼働

Brazil

- 2013年
•中南米初の
タイヤ工場稼働

Africa

- 2013年
•南アフリカ工場稼働



2003

オートタイヤ(株)と合併

2006

住友ゴムグループ
「長期ビジョン」を発表

2009

創業100周年

2012

長期ビジョン
「VISION 2020」を発表

2013

世界初の100%石油外
天然資源タイヤ
「エナセーブ 100」発売

*合成ゴムが主流になって以降
(当社調べ)

2014

ラベリング制度最高グレード
「AAA-a」を実現した
「エナセーブ NEXT」発売

次世代新工法「NEO-T01」採用
プレミアムランフラットタイヤ
DUNLOP「SP SPORT MAXX 050 NEO」
を日本で、FALKEN「AZENIS FK453」
RUNFLATを欧州で、それぞれ発売

目次

Introduction

住友ゴムグループについて

- 2 At a Glance
4 社長メッセージ

Our Strategy

私たちの戦略

- 8 特集

「真のグローバルプレイヤー」を目指して

- 14 営業の概況
14 タイヤ事業
16 スポーツ事業
18 産業品他事業
20 研究開発活動および知的財産戦略

Operating Base

事業達成の基盤力

- 22 CSR(企業の社会的責任)への取り組み
24 コーポレート・ガバナンス
27 取締役、監査役および執行役員

Financial Section

財務セクション

- 28 財務セクション
58 グローバルネットワーク
59 投資家情報

将来の見通しに関する注意事項

本アニュアルレポートに記載されている当社の計画、見やり、戦略、理念、業績の見通しおよびその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しです。これらは現在入手可能な情報に基づいた予想および期待であり、実際の業績は、さまざまなリスク・不確実な要素により、大きく異なる可能性があります。したがって、読者の皆さまにおかれましては、これらの将来の見通しに関する記述について全面的に依拠することは控えるようお願い申し上げます。